

# 刑法犯認知件数が 5年連続して減少

県内の「刑法認知件数」（警察が把握した刑法犯の発生件数）は、過去五年連続して減少しており、平成十九年中は十、万二、五二十九件でした。この件数は、その前年と比較しますと、一万七、四四件（八、三％）過去最高の件数を記録した平成十四年と比較しますと七、万七、六四四件（四〇、八％）減少しています。

また、この数値を一日当たり換算してみますと、平成十四年が約五百二十件であったのに対し、昨年中は約三百件となりました。つまり、この五年間で一日当たりにして二百件以上も刑法犯の認知件数が減少したということになります。

さらに、刑法犯の検挙率につきましても、五年連続して上昇しており、平成十九年中は三十九、八％とその前年と比較して一、二ポ

## 防犯かながわ

横浜市中区山下町75-6  
警察本部3F  
神奈川県防犯協会連合会  
電話045(641)4344番  
FAX045(641)1555番



### 一 検挙率も向上！ 県警統計

県警統計

イント増加しています。

このように刑法犯の抑止が良好な数値で推移しているのは、警察官の活動のみならず、防犯ボランティア団体を始めとした県民の皆様と自治体、警察が連携を図りながら、防犯パトロールなどの各種活動を行ってきた現れといえます。

しかし、県民の皆様が肌で感じるいわゆる「一体感治安」につきましては、皆様の身近なところで発生する「自転車盗」や「空き巣」のほか、ますます巧妙化する「振り込め詐欺」などの発生によって必ずしも満足できる状況にあるとは言えません。皆様一人一人が、真に安全と安心を実感できるようにするために、更なる努力が必要であると考えております。

### 安全・安心を 実感できる年に！

県警察では、平成二十一年までに刑法犯認知件数を



比較的治安が良いと言われている平成初期の九万件台にまで減少させることを目標に掲げており、本年は、「安全・安心を実感できる年」をスローガンとして、県民の皆様的心を護る警察活動に全力を挙げて取り組んでまいります。

県民の皆様も、「自分たちのまちは自分たちで守る」といった防犯意識を高めていただき、今後とも自治体、警察と共に、「安全・安心」を推進していただきますようお願いいたします。

街頭犯罪等の発生状況対比表 (県警資料)



## 「オレオレ詐欺」・「還付金等詐欺」の被害が後を絶ちません！

### ○こんなときは、「オレオレ詐欺」!?

- ◆普段の声と違うことについて尋ねると「カゼをひいた」「熱が高く体調が悪い」等と言いつづけた。
- ◆「携帯を落として壊れてしまった」等と携帯番号が変わったことを告げた後、以後の連絡は新しい番号にするよう言った。
- ◆「今日中に振り込まないとクビになる」「示談しないと警察に訴えられて逮捕される」等と現金の振り込みを急がされた。

### ○こんな時は、「還付金詐欺」!

還付金手続きのためにATMがあるところへ行くよう言われたら、間違いなく「還付金詐欺」です。税務署や役所の職員等が税金の還付手続きを行うために、ATMの操作を指示することは絶対にありません。

不審に思ったら、

直ちに警察の

相談窓口（#9110）

又は最寄りの警察署にご相談を。

また、緊急の場合には、

躊躇することなく

110番通報してください。



振り込む前に110番!



直ぐに振り込まないで、必ず誰かに相談を！  
言われるまま。

各地区の防犯活動を訪ねて

## 「安全・安心」は地域総ぐるみで



平塚市防犯協会指導員部会長  
小川 文男

それぞれの任に就き、警察署、行政等のご指導・支援を頂きながら地域安全の諸活動を行っています。

### ◆社会を明るく

防犯対策の重要な一つとして、平塚市内の防犯灯の維持管理があげられます。「社会を明るく」することが大切であり、文字どおり「電球の照度アップ」でありま

す。平成十八年度は、〇〇〇基の防犯灯を二〇〇Wから八〇W（水銀灯）に照度アップし、さらに十九年度は、八〇〇基を八〇Wに照度アップの予定です。

また市長さん提唱の「二軒一灯」運動も着々と浸透し、防犯効果も大きく、犯罪防止に成果もあ

り、平塚と申しますと、昔、桓武天皇の三代孫、高見王の娘正子が、東国へ向かう旅をした折、天安元年（八五七）三月この地で逝去した。柩はここに埋葬され、墓として塚が築かれた。

その塚の上が平らになったので里人は「ひらつか」と呼んできた。という説があり、これが平塚という地名の起りとなったそうです。

現在平塚市の人口は、約二十六万五〇〇〇人で県下で中堅的な都市に発展し、そのなかには二五五六の町内会、自治会があり、それを一十七の連合会に分かれています。そこから各種ボランティア活動の要員が選出されます。

平塚市防犯協会もその一部です。連合会長より、支部長、指導員、婦人部長の各一名を推薦いただき



## シャットアウト・ガンズ・かながわ

(Shut out Guns Kanagawa)

### —けん銃のない安全な社会をめざして—

昨年、全国において、暴力団等による凶悪な発砲事件が多発しました。

県警では、昨年4月に元傭兵によるけん銃密輸・密売事件を検挙して、けん銃13丁を押収したほか、インターネット利用による密・改造けん銃密売事件も検挙し、密造けん銃2丁、改造けん銃9丁等を押収しております。

### 【けん銃に関する幅広い情報提供をお願いします。】

- けん銃を見た。
- けん銃を持っている人を知っている。
- インターネットでけん銃が売られている。
- 遺品の旧軍用けん銃を持っている。
- 預かった荷物の中からけん銃が出てきた。



等、けん銃に関する情報や相談は、けん銃110番、もしくは最寄りの警察署、交番、または駐在所までご連絡ください。

■けん銃110番 **045-212-1010**

平塚市内は、地形が平坦地で自転車の利用者も多く、自転車・オートバイの盗難が駅周辺で多発していることから、これらの盗難防止キャンペーンを随時行い、防犯への改良活動に配慮しています。

### ◆老若男女の防犯活動

犯罪のない明るく町づくりに向け、老若男女を問わず、防犯パトロール、地域安全の集い、防犯パレード、青空地域安全教室等の防犯活動をボランティアとして、献身的に行動し、地域社会の「安全・安心」

（「構築に寄与貢献されている人々を見るに、純粋な気持ちで「何と素晴らしいことだろう。」と感謝するとともに、さわやかさと感動を受ける。この頃です。

私たち防犯指導員をはじめ、地域ぐるみの防犯活動は着実に安全・安心の地域社会形成に大きく作用していると確信しています。

私も、地域安全のため微力を尽くす所存です。皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

## 薬物乱用 Q&A ... 薬物のことをもっと知ってください

- Q1. 覚せい剤や麻薬等を乱用するとどうなるの？
- A. 脳や神経系が破壊され、心身ともにボロボロとなり、人間としての生活が出来なくなります。
- Q2. 1回くらいなら大丈夫？
- A. 一度使うと、まず自分の意思では「やめられない」と思ってください。
- Q3. 止めれば、元のカラダに戻るの？
- A. 乱用を止めても、睡眠不足や疲労、ストレス、飲酒等をキッカケに突然、幻覚や妄想等の精神障害（フラッシュバック）を起こすようになります。
- Q1. やせるって本当？
- A. 常習者の多くは、最初に「やせるクスリ」と言われて乱用するようになり、悲惨な目に遭っているのです。

薬物乱用のない安全な社会を実現するためには、一人ひとりが薬物乱用を拒絶する意思を持つことが大切なのです。

小川氏は、平塚市内で酒類販売業を営む一方、防犯指導員として防犯協会長・警察署長から委嘱され、防犯活動に従事。また町内会役員等で三十年余、防犯活動を推進活躍され、これまで防犯功労等で多くの表彰を受け、昨年十月には、全国防犯協会連合会会長、警察庁最優秀「防犯栄誉金章」授与されました。



# 平成十九年中の少年非行等の特徴

平成十九年中に県内で検挙・補導した非行少年は九、〇二二人で、三十三年ぶりに二万人を下回るなど減少傾向にあります。依然として九千人を上回る高い水準にあります。

また、学職別では七割以上が中学生・高校生という現状にあります。刑法犯で検挙・補導した少年は八、四五五人で、前年に比べ、四六八八人（十四、八％）減少しました。

一方、不良行為で注意・指導した少年は、四年連続で十万人を越え、深夜はいかいが全体の約六割を占めており、非行に走ったり、犯罪の被害に遭うことが懸念されます。

## 【特徴と傾向】

### ○凶悪犯罪が減少

凶悪犯罪で検挙・補導した少年は七十五人で、前年比二十五人（二十五、〇％）減少しています。殺人は三人で前年比二人減少しています。放火は十二人で前年比九人減少しています。

### ○少年非行のワースト1

「万引き」が減少  
少年非行のうち、最も多い犯罪が「万引き」です。「万引き」で検挙・補導した少年は、一、七三八人で検挙・補導した少年の三三、四％を占めています。前年比六、二四八人（十八、六％）減少しました。

### ○街頭犯罪が減少

街頭犯罪で検挙・補導した少年は、八八六人で、前年比二九四人（九、三％）減少しました。手口別では「自転車盗」が、一、〇七三人、前年比四九八人（十二、二％）減少、「オートバイ盗」が五〇二人、前年比三十五五人（六、五％）減少しています。しかし、「ひったくり」は七十四人、前年比十五人（二、五、四％）増加しています。

### ○深夜はいかいが喫煙が増加

不良行為で注意・指導した少年は昨年一年間で一六〇、四六五人で、前年比四四、五九四人（三十八、五％）増加しています。

この中で特に多い行為が「深夜はいかいが」で九二、四三人、前年比二二、二一人増加し、全体の五十七、六％を占めているほか、「喫煙」は四九、三六七人、前年比二四、四六二人（四十九、四％）増加し全体の三十一、八％を占めています。

※平成十九年中の統計は、暫定値です。  
神奈川県警察のホームページでは、「少年の非行被害防止」に関する

することを掲載しています。是非ご活用下さい。

### ○アドレス

<http://www.police.pref.kanagawa.jp/>

街頭犯罪検挙・補導状況

区分	19年	18年	増減	増減率
総数	1,886	2,080	-194	-9.3%
路上強盗	27	44	-17	-38.6%
ひったくり	74	59	15	25.4%
自転車盗	50	45	5	11.1%
車上ねらい	31	32	-1	-3.1%
部品ねらい	89	112	-23	-20.5%
自動車盗	40	29	11	37.9%
オートバイ盗	502	537	-35	-6.5%
自転車盗	1,073	1,222	-149	-12.2%

不良行為少年の学職別状況



## 悪質商法110番：平成十九年中二、一一三件

平成十九年の一年間に神奈川県警察の悪質商法一一〇番に寄せられた相談件数は二、一一三件でした。

### 中でも多かった相談は

○インターネットのアダルトサイトに接続したところ、料金がかかる説明が無かったのに「会員登録されました」などの画面が出て、高額な料金を請求された事案

○利用していないにもかかわらず、アダルトサイトなどを使用しただとして、メールなどで料金を請求された架空請求事案

○ダイレクトメールなどを見て有志を申し込んだところ、法外な高金利を請求され、支払えないと家族や会社に電話を掛けられて支払いを迫られたヤミ金融事案

○浄水器の訪問販売を受けた際、業者が水道水に何か薬を入れ、変色した水を見せて、

「水が汚れているから、このままでは病気になる」などと言ったため、不安になり高額の水を買ってしまった事案

○竹売りから竹竹を買おうとしたが、高額だったため断ろうとしたところ「もう半竹を切ってしまったので買ってもらわないと困る」などと強い口調で言われ、断れず買ってしまった事案

○訪問販売や電話勧誘を受けた際には、業者のうまい話に乗らず、きっぱり断ることが大事です。

少しでもおかしいと思ったら、お金を支払うてしまいう前に悪質商法一一〇番  
〇四五・六五・一一・一九・四  
む、ごい商法なくしていい暮らしまで、お電話ください。



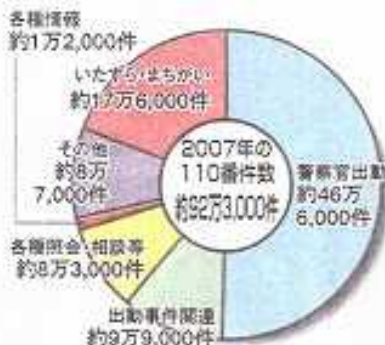
※お知らせ：次号より文章を横組みとします

# 『110番白書』

平成19年…110番件数92万件超、約34秒に1件通報

110番は、緊急事件などの際に県民と警察とを結ぶホットラインとして、今や、なくてはならないものとなっています。

県内で110番を架けると、全て、警察本部の通信指令室(110番センター)につながる仕組みになっており、昨年寄せられた110番の件数は、約92万3,000件でした。



**事件・事故は 110番!!**

ひったくり 交通事故

110番センター

1月10日は「110番」の日

**緊急時 頼れるあなたの 110番**

**火事・病人・けが人は 119番!!**

けが人 火事

救急車 消防車

**警察相談は #9110番**

免許の更新は  
子供のことで  
悪質商法の

警察総合相談電話  
045-664-9110又は#9110  
197/09、マイナンバーの電話からつながります

番号を確かめて 正しく利用しましょう!

**★110番通報の内訳**

110番のうち、警察官が出動したのが約半数の四十六万六千〇〇〇件、出動を要しなかったものが二十八万一千〇〇〇件あったほか、困ったことに、いたずら電話や119番等とのまちがい電話などが十七万六千〇〇〇件ありました。

**★相談内容は#9110へ**

警察官の出動を要しなかった110番のうち、警察署の電話番号照会、運転免許更新の相談、子供の非行問題などの相談ごと等が八万三千〇〇〇件あり、至急警察官を派遣しなければならぬ110番通報の妨げとなっているのが実情です。

そこで、警察本部では、これらの相談ごとをお聞きする専用電話のほか、警察総合相談電話「#9110番」を設置し、パソコンや携帯電話のホームページで詳しいご案内を行っております。

**★出動件数の半数は、交通関係**

警察官が出動した110番のうち、交通関係(交通事故、駐車違反、暴走族等)が二十四万件(五十二%)を占め、以下多い順に刑法犯・特別法犯四万七千〇〇〇件(十%)、けんか・口論、泥酔者二万七千〇〇〇件(八

## 地区活動のあれこれ



南 合同防犯パトロール



川崎臨港 お相談さんと防犯



西区 子ども見守り活動



泉 防犯展示コーナー



小田原 防犯パトロール



大船 防犯ポスター展示



神奈川 防犯キャンペーン



大和・綾瀬 子ども防犯マップ作成

ぼくたちが 安心できる 地域の目